

2021年1月6日
SOMPOひまわり生命保険株式会社
国際金融公社
トロント・ドミニオン日本証券株式会社

国際金融公社が発行する『ソーシャルボンド』への投資 ～新型コロナウイルス感染症対策を含む開発目標への貢献～

SOMPOひまわり生命保険株式会社（社長：大場 康弘、以下「SOMPOひまわり生命」）は、世界銀行グループの国際金融公社（International Finance Corporation、以下「IFC」）が発行するソーシャルボンドへの投資を行いました。

1. 背景・目的

IFCは、途上国の民間セクター支援に特化した世界最大規模の国際開発金融機関であり、途上国の民間セクターへの投融資、国際金融市場での資金調達等を通じて、途上国の持続可能な成長を支援しています。IFCがソーシャルボンドの発行を通じて調達した資金は、新型コロナウイルス拡大による景気低迷の影響を受けた国を含む途上国において、必要なサービスを受けられない人々を受益者とするプロジェクトに充てられます。



（出典：IFC）

IFCは昨年3月、80億米ドルの新型コロナウイルス対策関連の融資枠を設定し、貿易金融や運転資金の供与を通じて、途上国の民間企業を支援しています。また7月には、途上国における深刻な医療品の供給不足に対処するために、グローバル・ヘルス・プラットフォームを設立しました。IFCのソーシャルボンドは、ソーシャルボンド原則を遵守し、その調達資金は持続可能な開発目標「SDGs」の達成に資するものです。

今回、SOMPOひまわり生命は、新型コロナウイルス対策の支援に加えて、SDGsの実現に貢献することに賛同し、投資を実施しました。

2. 本債券の概要

発行体名称：国際金融公社（S&P 格付：AAA、Moody's 格付：Aaa）

発行総額：50百万豪ドル（約38億円相当）

償還期限：2035年4月15日

3. 今後の展開

SOMPOグループでは「安心・安全・健康に資する最高品質のサービスの提供を通じてレジリエントで持続可能な社会に貢献する」というCSRビジョンに基づき、グループが取り組むべき5つの重点課題を特定しています。今回の投資は「②健康・福祉への貢献」の取組みの一環です。今後もSOMPOひまわり生命は、生命保険会社として長期的に安定した収益を確保できる資産構築を目指すとともに、お客さまの万が一の際の保障と毎日の健康を応援する健康応援企業として、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

5つの重点課題

1 防災・減災への取組み	防災・減災に資する商品・サービスなどの提供やさまざまな組織との協働プロジェクトを展開し、人々が安心・安全に暮らせる社会の実現に貢献している。
2 健康・福祉への貢献	質の高い介護・ヘルスケアサービスなどの提供や健康・福祉の増進に資するプロジェクトを展開し、あらゆる人々がよりよく生活できる社会の実現に貢献している。
3 地球環境問題への対応	気候変動への適応と緩和、生物多様性の保全などにバリューチェーンで対処し、新しいソリューションを提供することで、持続可能な社会の実現に貢献している。
4 よりよいコミュニティ・社会づくり	社会貢献活動や地域の文化振興に資する活動などを通じ、ステークホルダーからもっとも信頼される企業グループとして、よりよいコミュニティ・社会の実現に貢献している。
5 ダイバーシティの推進・啓発	基本的人権を尊重し、多様な個性を認め、ダイバーシティを推進することで、社員を含めたステークホルダーが活躍できる社会の実現に貢献している。

以上

【参考】国際金融公社の概要

国際金融公社（International Finance Corporation、略称：IFC）は、世界銀行グループの一員であり、新興国における民間セクター支援に特化した世界最大規模の国際開発金融機関です。IFCは、世界100カ国以上で資金、専門知識そして影響力を駆使することで、途上国において市場と機会を創出するための支援を行っています。極度の貧困の撲滅と繁栄の共有を促進するべく民間資金を最大限活用し、2020年度は途上国の民間企業と金融機関に対し220億ドルの投融資を行いました。詳細はwww.ifc.orgをご覧ください。

【参考】TDセキュリティーズの概要

TDセキュリティーズは、TD Bank Groupの市場部門として、世界の主要発行体、及び投資家との強力なリレーションとリサーチ力をベースに、資本市場での債券発行や投資運用のソリューションを提供しています。また、日本の現地法人であるトロント・ドミニオン日本証券は、本邦機関投資家に対して外貨資金の調達や債券の運用機会を提供、また債券発行による調達に関する情報提供を行っております。